

日本語教育大会2017 第2分科会

すべての子どもたちが、それぞれの良さを活かして輝く街を！

地球っ子クラブ2000規約より

子どもたちからのメッセージを受け取って



たぶんかきあせい いばしよ なかま きよみつ
 多文化共生のまち・居場所作り・仲間作りをめざす にほんご教室です

いっしょに 学びましょう！

①②

地球っ子クラブ 2000

親子の日本語教室で、
 子どもから大人まで参加できます。



大人は、日本語を勉強したり、学校の手紙を読んだりします。
 子どもは、日本語や学校の勉強をします。



☆日本語で、ゲーム、料理、実験などもします。
 ☆自分の国のことばや友達国のことばも大切にしています！

③

ここにこ Coconico

国際結婚をした人や、
 妊娠中や子育て中の外国出身の人が
 情報交換したり、
 子育ての仲間づくりをしたりしています。

☆ママの国のことばで 絵本・うた
 ☆料理を たのしもう！
 ☆みんなで ランチタイム



多言語で絵本の読み聞かせ
 (南浦和図書館で)

④

多文化 Multi-cultural 多世代 Multi-generation

あそび舎 てんきりん



どなたもどうぞ！

☆“にほんご畑”
 ☆多言語で絵本を読みあう会
 ☆多文化カフェ“馬日春日”
 ☆手しごと ☆etc.

いっしょに おはなししましょう！

子どものこと・学校のこと・心配なこと
 いつでも どうぞ！

- ①② 090-8804-4249 (たかやなぎ)
- ③ 080-6123-0175 (いのうえ)
- ④ 090-2415-8111 (はが)

<地球っ子グループ・4つの教室>

①

地球っ子クラブ 2000 植竹

第2・第4土曜日
 13:30-15:30

種竹公民館
 JR 土呂駅
 (東武野田線 大宮公園駅)

②

地球っ子クラブ 2000 七里

第2・第4土曜日
 10:00-12:00

七里公民館
 (東武野田線 七里駅)



③

多文化子育ての会 Coconico

第1・第3・第5月曜日
 10:00-14:00

コーププラザ浦和
 (JR 南浦和駅)

④

あそび舎 てんきりん

毎週木曜日
 10:30-13:30

てんきりん
 JR 浦和駅
 (バス停 太田窪3丁目)

埼玉県(さいたま市)の特徴・課題

◆日本語指導が必要な子どもたち 1762人+541人

中国語628人・フィリピン語294人・ポルトガル語143人・スペイン語132人・ベトナム語90人・英語71人・韓国語18人・その他386人

◆外国出身住民は全国で5番目・140か国以上・分散地域

<指導体制>

日本語教員(常勤) 2人

日本語指導員(非常勤 スクールアシスタント)2000年頃から制度化
2時間×2回/週1年間

<課題>

日本語指導が必要な児童生徒の基準

研修の不足(指導者の意識共有・日本語担当以外の教員の意識)

入学準備へのサポートが必要

保護者への情報の不足

28h日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査参考

教室活動(1)

情報が届かない

＜大切にしていること＞体験がことばの力を育てる
グループ活動での体験・ことば遊び・実験・数遊び等

心が動く・頭が動く・生きたことば

親子の対話

母語の大切さ

終了後のミーティング＝子どもたちに必要なことを共有



教室活動(2)子ども支援は親支援 子育て時期の大切さ・母語を支える・つながりを作る

情報が
届かない

- 〇〇〇 <多文化子育ての会Coconicoが大切にしていること>
- ・日本語ができるようになったら～ではなく、できるだけ早いスタートを！

- ・居場所・仲間作り

- ・お出かけ(普通の日本人がすること、近くの公園でお花見、水遊び、たまには科学館)

- ・地域への参加・活躍

<課題>情報が届かない



母語や母文化を
好きになる

絵本が好きになる

内面の世界の広がり
落ち着き



事例紹介（絵本の効果）

～絵本をまんやかに～
いいことづくめ・絵本の力
教室に来る子どもたちの成長

母語の保持

男子・小2来日（韓国）
現在中学1年
絵本を国から持ってきた

みんなで一緒に活動すること
男子・小2 年中

知的なことへの興味
本で調べる力



保護者の意識
一緒に図書館に行ったり

子どもたちから受け取ったメッセージ 求められていることであり、課題でもある

日本語だけで見ない・子どもをトータルで見る力

よいところを見つける・足りないことを数えない

ありがとうと言われたい＝こちらが教えてもらう演出

心が寂しい子に勉強といっても無理

その子にあった勉強法の工夫・急がないで(ひらがな学習の事例)

日本語の先にあるもの(ライフコースをみる)

倒れそうな時に支える存在

勉強したいのに勉強する場がない

スタッフ: 日本語のみでない特性をいかして活動

日本語教師・日本語指導員4人、学校図書館司書(日本語教師)1人、保育師1人、大学生1人、
外国出身者2人、絵画造形1人、会計1人

連携へ(1)

日本語のサポートだけでは足りない！
学校・地域・行政への働きかけ・地域の協議会

地域の協議会

・東宮下小学校・七里小学校・七里保
育園・七里東保育園・日本語教員・クラ
ス担任・公民館・さいたま市教育委員会

コーディネーターの会
相談体制、情報提供

東宮下小との協働
就学時健診・入学前説
明会・子育て講座

保育園との連携
多言語おはなし会
職員研修
声かけ・相談

学校からの相談
教科の学習ができない...
日本語が全くできないが...

連携へ(2)

就学時健診・入学前学校説明会・子育て講座

- ◆提案→学校と協働
 - ◆書類記入手助け・やさしいにほんごと専門用語の多言語版(仲間の外国出身者と協働)
 - ◆健診結果のチェック事項 聴力検査での再検査(耳の問題?ことばの問題?)
 - ◆多様性を意識した子育て講座
 - ◆外国出身者の参加協力
 - ◆来年度に向けた提案
- 待ち時間の間の校内見学





連携へ(3) 活躍の場(多様性への共感、アイデンティティ)

市内図書館・公民館・生協・チャレンジスクール・埼玉県国際交流協会・保育園



「人材育成」取組の内容

内容	詳細	対象
<p>講演会 全6回 22h</p> <p>～多文化の子どもの力を伸ばすために～</p> <p>日本語、文化的配慮、保護者との関わり を考える</p>	<p>① 大蔵守久氏(6月3日、11月11日・各4h) わかりやすい、飽きさせない！日本語初期指導と教科指導への工夫(1)(2)</p> <p>②石井恵理子氏 (7月1日、7月29日・各4h) 子どものことばの発達と活動型日本語学習について (1)「子どものことばをはぐくむ活動」(2)「子どものことばの力を捉える」</p> <p>③門美由紀氏(9月16日・3h) 外国に繋がる親子のエンパワメント、保護者への対応、連携と多文化共生の視点</p> <p>④井上千み子氏 (10月21日・3h) 学校現場における「やさしい日本語」</p>	<p>教員 日本語指導員 日本語ボランティア など</p>
<p>教師研修 3回×1.5h</p>	<p>パワーアップ講座(5月19日、11月17日、2月17日・各1.5h)</p>	<p>さいたま市教職員</p>
<p>訪問研修 3h</p>	<p>① 教職員向け(10月予定・1.5h)</p> <p>②七里東保育園 (7月6日・1.5h) 子どもたちの多様性を保育に活かすために・現場からのQ</p>	<p>外国につながる子どもが在籍する 学校等の教職員</p>
<p>勉強会 2h</p>	<p>子どもの日本語研究会さいたま(9月予定・2h)</p>	<p>子どものにほんご 支援者</p>

★教育研究所による「夏休みの教師希望研修」の講師も担当している。

人材育成の目的と課題

<目的>

外国につながる子どもたちを取り巻くすべての人たちが
子どもたちが置かれている実態を正しく理解し、支援の仕方について共有すること
保護者とのコミュニケーションを充実すること
多文化共生の意識を持ち、多様性の良さを教育現場や地域の中で広めていくこと
そして
子どもたちの教育を保障する制度作りに向けた意識を共有すること

<対象>

教職員 担任 教頭 日本語指導員 地域の支援者 行政関係者



情報が
届かない

<課題と成果>

担任教員の参加がない・教え方以外の講座への参加意欲が低い
どうやって体制作りにつなげていくか？
にほんご勉強会への発展

多文化を背景に持つ子どもたちが それぞれの良さを生かして輝くために！

教員はもちろん、子供たちに接するすべての大人に望むこと

多文化共生の意識・多様性を楽しむ力

「おんなじおんなじ」って
うれしいね！

「ちょっとちがう」って
たのしいね！

ありがとうございました。地球っ子クラブ2000 芳賀洋子